

剣道が楽しくなる

松原剣道 中学二年 松原 叶恋

私が剣道を始めしたのは、中学一年生の春に剣道部に入部した時です。特にやってみたいスポーツが無かった時に友達に誘われたのが剣道部でした。体験入部が楽しかったという些細な理由で始めた剣道が、私の生活を楽しませてくれたのです。

初めて面をつける稽古は、去年の夏でした。この時期は気温が高く、猛暑が続いていました。ただ、その暑さもあったが、面をつけて少し動くとすぐに汗が垂れてきました。そんな状態の中での稽古は、とても辛いものでした。

「稽古ってこんなに辛いんだ」と感じました。二日、三日と続いていくことを嫌に思い、私は剣道へのやる気もなくなりました。

こうして剣道から離れたかと思っていた頃、部活の時に新しく指導してくださっている先生に道場への誘いを頂き、松原剣道へ実際に

見学に行きました。するとそこには、先輩方  
と共に試合をしていゝ姿がありました。丁度  
その日は、月に一回行われる大会だ。たよう  
です。お互いに竹刀をぶつけ合い、技を出し  
ている先輩方は勝った方も負けた方も、私に  
とってとてもかっこいい姿に見えました。そ  
こで私は、自分も強くなって、かっこいい試  
合が出来るようになりたい。と思ひました。  
剣道で強くなるにはたくさん稽古をすること  
が大切と教わったので、私は稽古へやる気を  
起すようになりました。

その日から見学した道場に入り、部活では  
やったことかかないような返し技やオシイ稽古  
などといった、本格的な稽古も日々積み重ね  
ていきました。もちろん辛かったり、心かか  
りかけた日もたくさんありました。足は走く  
引きつけけるんだよ。面は手を伸ばして打つ  
くたよ。なの先生の先生方からの指導やアヒバ  
ス。頂きながら、少しおつ重ねていく練習を  
し、試合でも少しずつ勝てるようになってき

た自分に、成長していくことを感じました。  
そしてあれから約一年、現在。私を今の剣  
道へ導いた、かつこいい試合に少しは近  
けたかなと思います。そして今は、練習試合  
や公式戦など、千士の役に立てるようなこ  
とが少し増えてきました。試合に出てい  
くうちに、勝負にこだわらなくなりました。  
た。団体戦や戦うことが多いので、千士の  
ために勝てるよう自主練や工夫した稽古など  
の努力をしております。一年前の自分が憧  
れていた、勝っても負けてもかっこいい自分  
に、向かって道場も部活も進んで稽古にはげ  
み、達成できるように頑張っていました。